

世界遺産の地域を守る ～那智川流域における直轄砂防事業～

- 和歌山県那智勝浦町的那智川流域では、平成23年の紀伊半島大水害で各支川で斜面崩壊が発生し、那智川へ流れ込んできた土石流により多大な被害をもたらしました。これまでに各支川に計15基の砂防堰堤が完成、また安全に水が流れるよう渓流保全工や護岸工事も完成しています。
- 周辺には熊野那智大社や那智の大滝といった世界遺産にも登録されている場所があります。引き続き景観に配慮しながら土石流が発生した際に一時的に土砂を貯めておくことができる遊砂地の整備を進めています。

見学可能時期：通年（ただし6/15～10/31までは工事現場内の立入不可）

※天候や工事状況によっては見学できない場合があります

見学対応時間：9:00～17:00（2時間程度）

見学対象：団体（10～30名程度）



土石流模型等を活用した防災学習



景観に配慮した砂防堰堤の見学

